

療法などいろいろありますが、唯一根本的な治療に近い、抗原を少しずつ注射していく特異的減感作療法にしてもアレルギーが完全になくなるというものではありません。

結局、あとは個人差ということになります。レーザーだけの処置で済む人もいれば、薬を併用する人もいますし、さまざまです。

もともと、「何の治療もしていないんだけど、薬は飲みたくない」「昔、薬を飲んだけれども、だらだらと耳鼻科に通わなければいけない」「飲んで眠くなってしまふ」などの理由で、とにかく薬は使いたくないという人が最初から手術を求めて来られることが多いですね。

——レーザー治療は定期的に受けなければならないのですか。

笠井 最初、普及し始めたころ、大学などでは週に1度のレーザー治療を、3回か4回繰り返して行っていました。そういう周期が最も効果があると考えられていたのです。ですから、いまでも連続して治療するという方法を打ち出し

ているところもあるのですが、当院では月1回が基本です。診療報酬制度では手術の治療となり、月1回しか認められていませんし、鼻粘膜が再生する1か月後に具合がよければ再手術する必要はありませんから。結局、治療効果がどれくらい持続するかということは判断が難しく、ご本人次第です。1回だけでも大丈夫な人もいますし、3回くらい続けなければならぬ人もいます。また、今ごろの時期になると、春先に症状がひどかった人や術後1年ぐらいの人が2度目の手術を受けにきたりと、個人差はととても大きいですね。

簡単にできる、治療効果の高いレーザー治療

——レーザー治療の長所・短所を教えてください。

笠井 長所としては、①治療効果が7割～9割以上と高い、②治療効果が比較的長く続く、③入院が不要で手術時間も短くて済み、通院回数も少ない、④出血がほとんどなく、縫合や抜糸も不要、⑤薬

や放射線のような副作用がなく、薬の使用量も減らすことができ、強い薬に頼らなくても済むようになる、⑥健康保険が適用され費用の負担が少ない、などがあげられます。短所としては、術後数日間の鼻水や鼻づまりです。

鼻粘膜は次第にもとの状態に戻るた

め、数年後には鼻炎の症状が再発してきますが、そのような場合でも安全に繰り返しレーザー治療を行うことができますので、容易に症状の改善は得られます。

——実際に費用はいくらぐらいかかるのですか。

笠井 今度また保険点数が改正されますが現在は、1回で2割負担の方だと2,640円、3割負担の方で3,960円です。これは片側です。

——粘膜を焼くわけですが、体への悪影響はあるのですか。

笠井 組織学的に考えると、粘膜がやけどをした状態になります。粘膜の上皮は吹き飛んでなくなっていますから、粘膜のすぐ下の層が剥き出しになる形で、その表面に熱が加わって変性を起こしているわけです。

しかし、鼻の粘膜はものすごく丈夫で、厚みのあるところなのです。例えば、表面の層は、ちょっと鼻をかんだり、あるいは綿棒を入れたり、こすったりするだけで、普段でもすぐ剥げ落ちる状態なのですが、それでも数日～1週間で、ひどい場合でも1か月以内にはきちんと再生してきます。

レーザー治療の場合も同じで、いくら深くしっかり焼いても、再生してきた粘膜は、そんなに厚みはありませんが、皮膚に近いような状態になります。もちろん皮膚に近づけたいのです。皮膚に近づければ近いほど粘膜とは異なって、あまり強いアレルギー反応を起こさなくなります。また、再生してきた粘膜は、前とは反応性が違ったり、アレルギーの反応を起こす粘膜細胞が減ったりします。

——小さいお子さんなども受ける

【最新レーザー治療のすすめ：炭酸ガスレーザーによる鼻粘膜焼灼治療のご案内】

- 次のような方に、特にお勧めしています。
 - アレルギー性鼻炎、花粉症、肥田性鼻炎、慢性鼻炎、鼻腫れのある方、
 - 他の治療法では、症状の軽減がみられなかった難治性の方
 - 薬のため、鼻づまりの症状が改善するには時間を要する方
 - 辛いアレルギー、十分な睡眠がとれない方、お薬を服用して副作用がでない方
 - 薬が効かなくなった方、あるいは薬で気管支炎やぜんそくなどの副作用が出る方
 - 辛い、鼻水や鼻づまりが薬を飲んでも治らない方

●炭酸ガスレーザーの特徴

- 次のような特徴もあり、安全かつ長時間治療ができます。
 - 従来の手術的粘膜切除や薬物による粘膜焼灼にくらべて、痛みや炎症がほとんどありません。
 - 5分ほどの短時間で済み、安全で、経鼻口や小児でも、日帰り手術が可能です。
 - 鼻奥のレーザー手術には健康保険が適応されています。保険適用（自費）の医療機関では、1回1万円の高額な治療費となります。当院では健康保険が適応しますので、お支払いは異なります。もちろん、治療内容は差はありません。1回1割につき、健康3割負担の方で2,640円、3割負担の方は3,960円です。（平成12年4月改訂の健康保険診療報酬による）通常、初回は1週間～1か月の期間をあけて、片方ずつレーザー治療をしていただきます。

●実際の手術について

- 1回の手術は約15分、麻酔後の1時間ほど鼻の中に入る「炭酸ガス」を行うだけです。術後の食事制限など、手術は一切不要です。麻酔材料も外来診療の一環として行っています。
- レーザー治療を行う
- 術後も数分程度で済み、その後の、お風呂、食生活の制限はありません。当日帰院ですが痛みを感じる人がいるので、そのために消炎鎮痛剤や抗ヒスタミン剤を処方しています。
- レーザー手術後の注意
- 術後3、4日はアルコール、タバコ、鼻づまりの薬は控えます。鼻が乾くことがありますので、微く鼻をかまないといいです。術後3、4日は鼻内「かみかみ」がかけられます。通常、1週間後から徐々に症状の改善が見られますが、辛い症状が続くときは、術後の鼻の腫れも原因になりますので、再手術を受けることがあります。